



## 限定3名

# 算数特別個別指導

### 完全オーダーメイドの個別特訓

算数は中学受験の要となる教科であるだけでなく、論理的思考力を養う上でも重要な教科です。苦手で行き詰まっている、成績が伸び悩んでいる、または更に成績を高めていきたい、という時、闇雲に問題を解いたり、パターンの暗記に走るのではなく、考え方や発想の仕方を鍛え、根拠を持って自信を持って解答できる力をつけていくことが重要です。

この算数特別個別指導では生徒の状況に合わせて完全オーダーメイドで教材を作成し、徹底指導をしていきます。

#### ■ 募集定員は以下の通り（詳細は裏面）

- 土曜日19:00～20:20（1名）
- 火曜日18:40～20:00（1名）
- 通信指導【プリント送付と動画解説】（1名）

#### ■ 受講条件

- ・やる気のある生徒であること
- ・小学4年生～小学6年生

**M-style**  
まなびスタイル

学習教室まなびスタイル  
江東区東雲2-10-47  
吾妻鋼業ビル2階  
電話:03-6426-0246  
メール:info@t-skill.com

## 新規生徒募集

### 授業期間

2018年9月

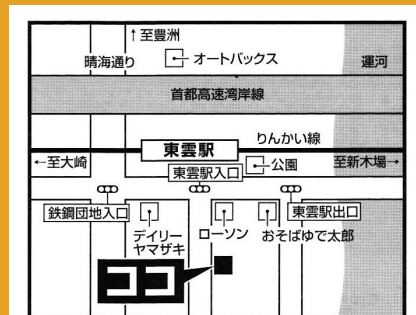
～2019年1月

2019年2月以降は  
生徒の状況と要望に  
応じて更新可能

代表・諸葛（もろくず）  
が全授業を担当

先着順で締め切り  
追加募集なし

### 地図



## ■算数特別個別指導 実施概要

【募集定員】対象は小学4年生から小学6年生

土曜日19:00～20:20（1名）

火曜日18:40～20:00（1名）

通信指導【プリント送付と動画解説】（1名）

【授業ペース】

- ◆土曜日または火曜日・・・月3回～4回（週1ペース・祝日休み）
  - ・授業は解いてきた課題を解説し、確認問題や類題演習を行ないます。
    - 課題を解いてこななければ成立しません。
    - 正解が出ていなくて良いので、すべての問題に目をチャレンジした状態で臨んで下さい。
    - 宿題として次回までの課題を出します。
- ◆通信指導のペースは応相談（隔週～週1ペース）
  - ・送られてきた課題にチャレンジしたら、解答をFAXまたはメール添付して送付します。その答案を見て、解説動画を作成し、配信する形式です。
    - 課題の量も相談で決めます。（1セット6問～12問）
    - 解説動画もオーダーメイドでその都度、作成します。
    - 動画解説で、わからない部分については改めて解説プリントも作成します。

【受講料】

	1か月	5か月一括 (2019年1月まで)
火曜日または土曜日	32,400円	±62,000円→ <b>150,000円</b>
通信指導（隔週）	21,600円	±08,000円→ <b>100,000円</b>
通信指導（週1）	32,400円	±62,000円→ <b>150,000円</b>

※5か月一括のお支払いの場合

2019年1月まで通って、生徒がしっかり課題に取り組んできても、成果が出ない場合、**全額返金**を致します。（ただし、通信指導を除く。直接の指導ができないため。）

※生徒が課題に取り組まず、やる気がない場合にはお互いに辛い状況になりますので、改善の見込みがないと判断した際は退会して頂きます。

その際、5か月一括納入の場合は残りのお月謝を返金致します。

※2019年2月以降継続するかどうかは生徒の状況を見てご判断下さい。ご希望があれば継続致します。

【申し込み方法】

メールにて諸葛までご連絡ください。（moro@t-skill.com）

オーダーメイドで指導する性質上、質を担保するために

火曜日、土曜日、通信指導、それぞれ1名ずつの募集です。（追加募集は予定していません）

選抜試験などは行ないませんが、先着順で締め切らせて頂きます。

【担当講師・諸葛（もろくず）のプロフィール】

建築家として建築設計の仕事をしなが、都内大手進学塾「早稲田アカデミー」にて約15年指導を行ない、講師育成のインストラクターも務めた経験を基に授業力向上のスキルをまとめた書籍「イラスト図解でわかるプロ教師力アップ術55」（明治図書）を出版。

その反響から教育委員会や各種学校などで講演や教員研修などを行なうようになり、T's skill教育技術研究所を立ち上げ、私学教員向けの教務コンサルティングやT's skill教師塾を主宰・運営する。

現在では諸葛正弥教育総合研究所として、広く学習相談や講演・研修活動などを行ないながら、実践の場として学習教室「まなび-スタイル」の運営を行なっている。

また、2011年度より千葉県立柏高校におけるスーパーサイエンスハイスクールの運営委員として、国際的に通用する科学者の育成に関する取り組み、評価制度の構築を行なっている。